

Ⅲ 職 業

1 職場での男女平等について

(現在、仕事【収入を得る仕事】をしている方にお聞きします。)

問10 あなたの職場では、次にあげる(a)～(g)それぞれの面で男女平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

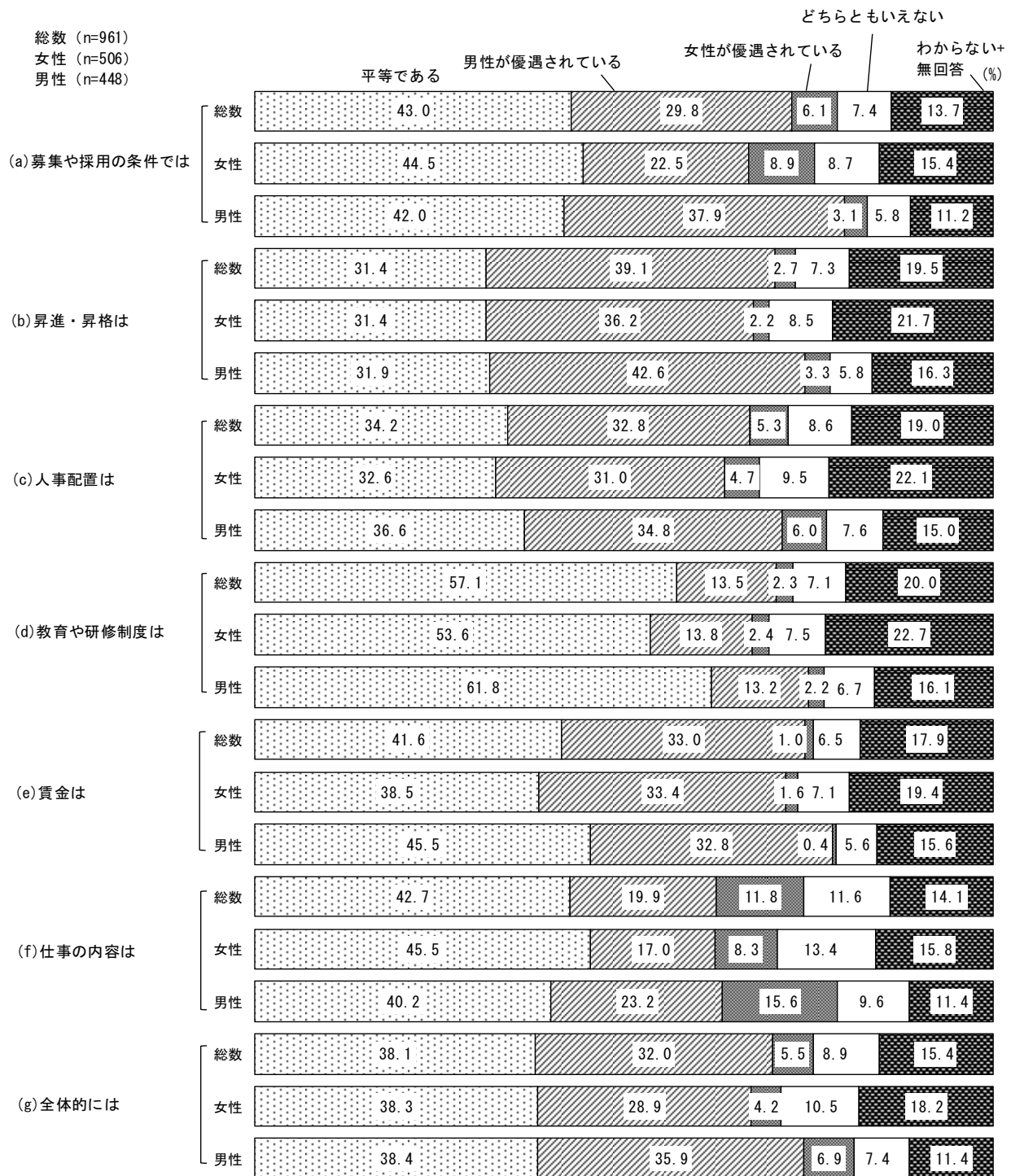
男女とも「平等である」と回答した人が最も多いのは、“(d) 教育や研修制度は”(女性53.6%、男性61.8%)となっている。

一方、最も少ないのは、“(b) 昇進・昇格は”(女性31.4%、男性31.9%)で、次いで“(c) 人事配置は”(女性32.6%、男性36.6%)となっている。

『男性が優遇されている』については、男女とも“(b) 昇進・昇格は”(女性36.2%、男性42.6%)が最も多い。

『女性が優遇されている』については、女性は“(a) 募集や採用の条件では”(8.9%)が最も多く、男性では“(f) 仕事の内容は”(15.6%)が最も多い。

図10-1 職場での男女平等について 項目別一覧（性別）



※『男性が優遇されている』は調査票選択肢の「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計したもの。

『女性が優遇されている』は調査票選択肢の「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計したもの。以降の頁も同様。

職場での男女平等について

【平成27年度調査との比較】

平成27年度の調査結果と比較すると、『男性が優遇されている』は、男性の“(a) 募集や採用の条件では”を除き、全ての項目が減少した。「平等である」は“(d) 教育や研修制度は”を除き、増加傾向にある。

図10-2 職場での男女平等について (a) 募集や採用の条件では

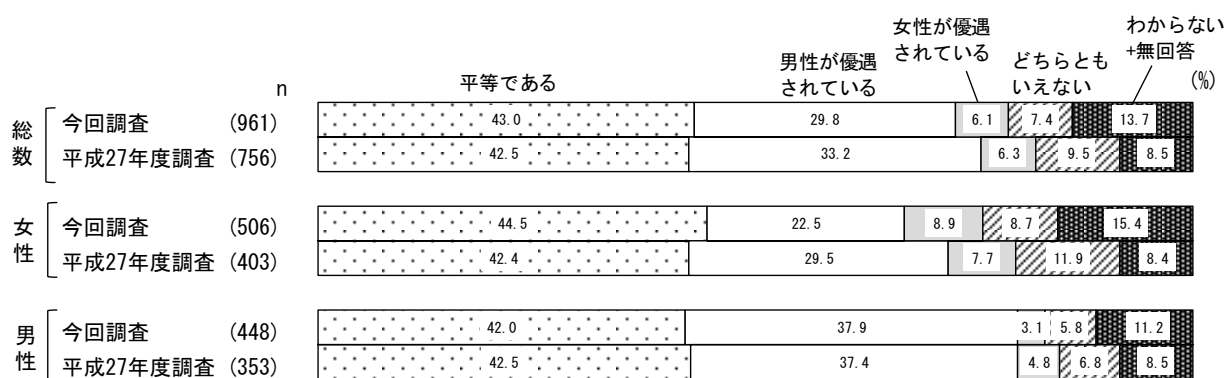


図10-3 職場での男女平等について (b) 昇進・昇格は

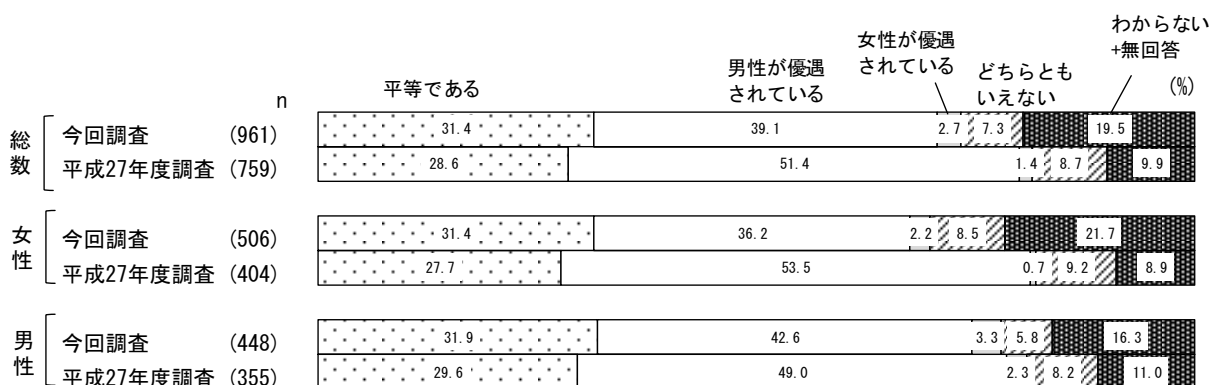
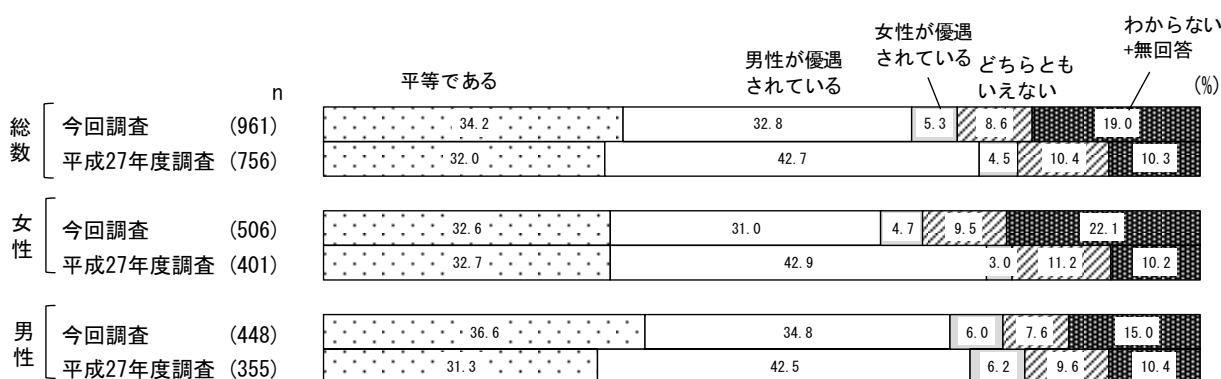


図10-4 職場での男女平等について (c) 人事配置は



※なお、今回調査では「わからない」に「無回答」を含めて集計しているが、平成27年度調査では「無回答」を集計から外している。

図10-5 職場での男女平等について (d) 教育や研修制度は

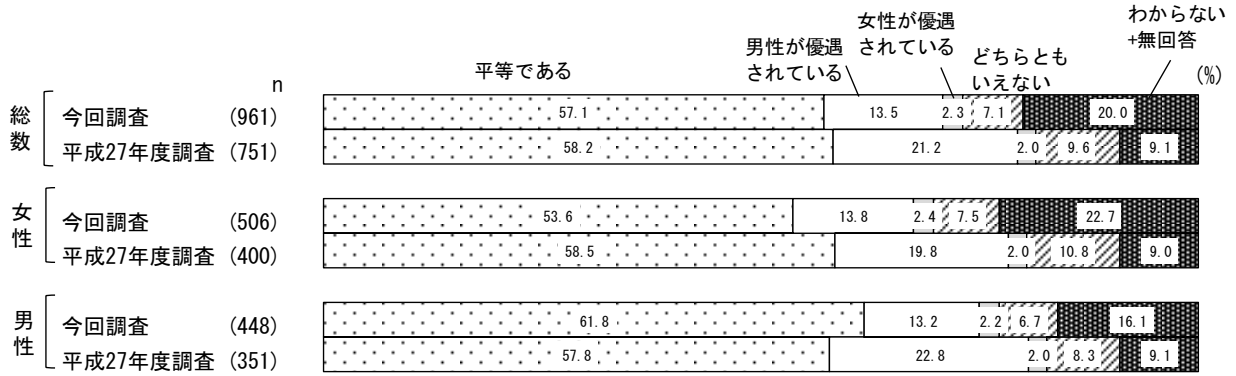


図10-6 職場での男女平等について (e) 賃金は

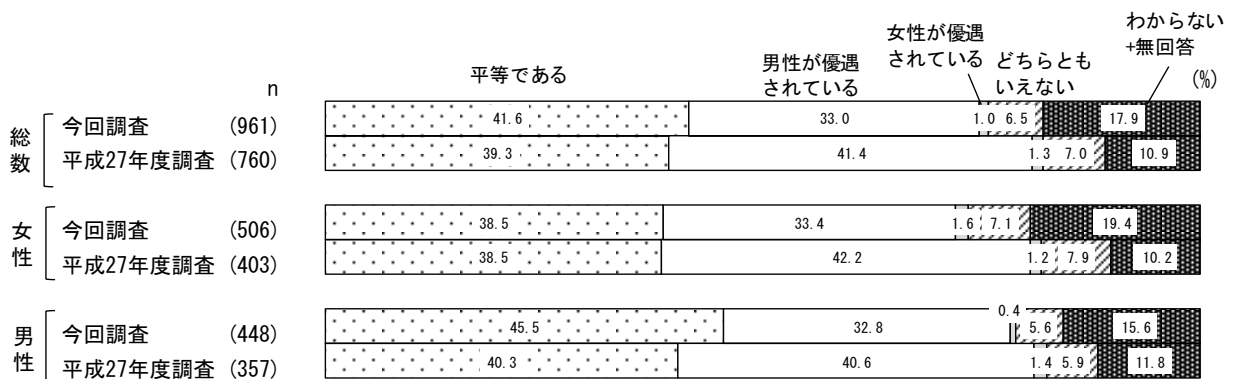


図10-7 職場での男女平等について (f) 仕事の内容は

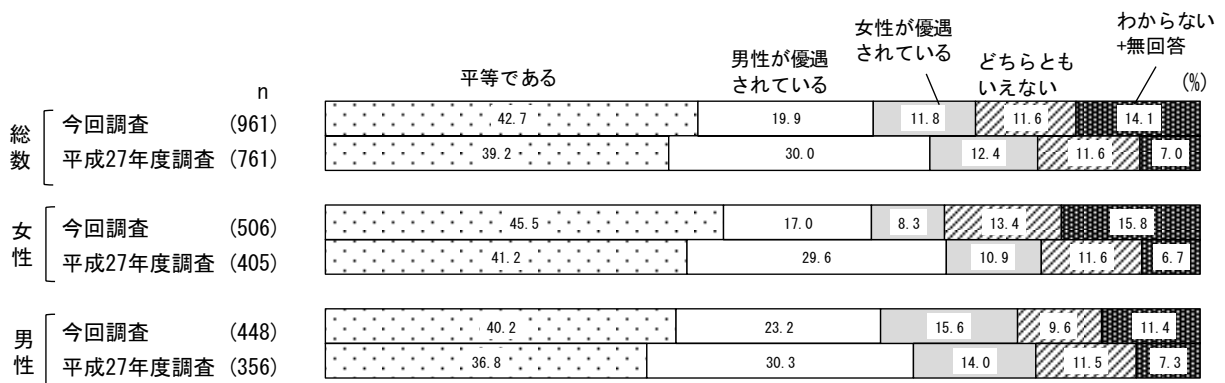
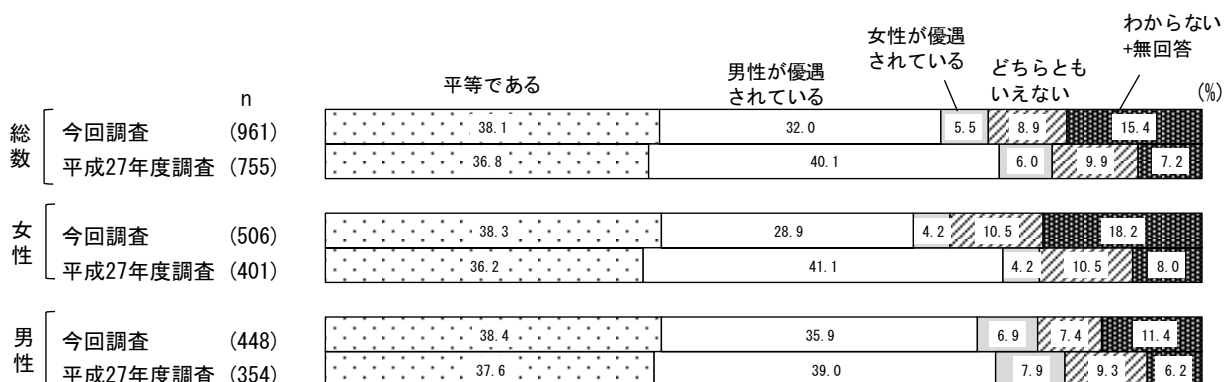


図10-8 職場での男女平等について (g) 全体的には



2 女性が管理職に昇進することについて

(現在、仕事【収入を得る仕事】をしている方にお聞きします。)

問11 女性が管理職に昇進することについて、どう思いますか。(○は1つだけ)

【性別】

男女とも『賛成である(計)』(女性80.4%、男性69.7%)が『賛成しない(計)』(女性2.2%、男性6.7%)を上回っている。

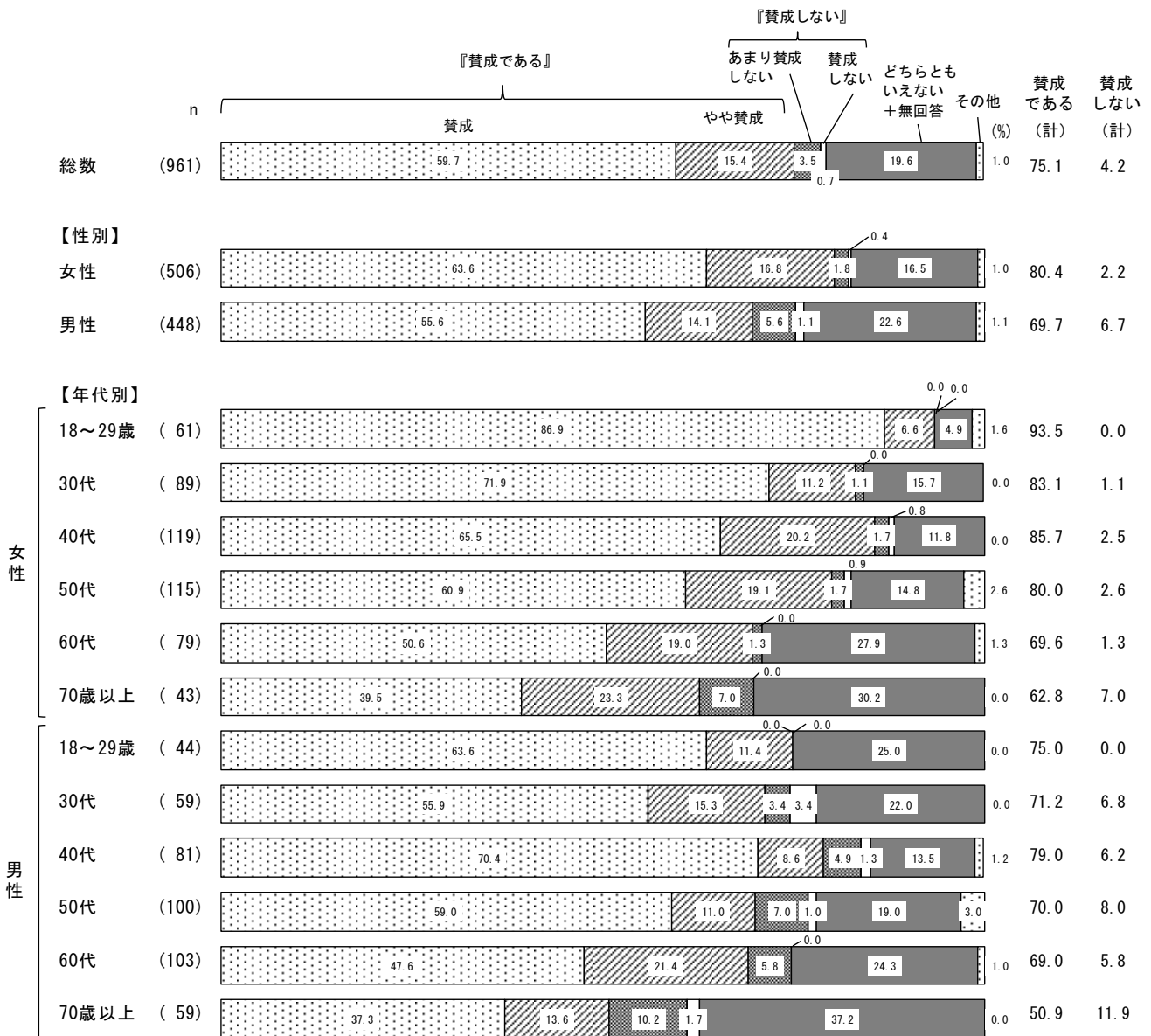
『賛成である(計)』は女性の方が男性より10.7ポイント多く、『賛成しない(計)』は男性の方が女性より4.5ポイント多くなっている。

【年代別】

女性では『賛成である(計)』が最も多いのは18～29歳(93.5%)で、次いで40代(85.7%)と続き、70歳以上(62.8%)が最も少ない。

男性では『賛成である(計)』が最も多いのは40代(79.0%)で、次いで、18～29歳(75.0%)と続き、70歳以上(50.9%)が最も少ない。

図11-1 女性が管理職に昇進することについて (性別・年代別)

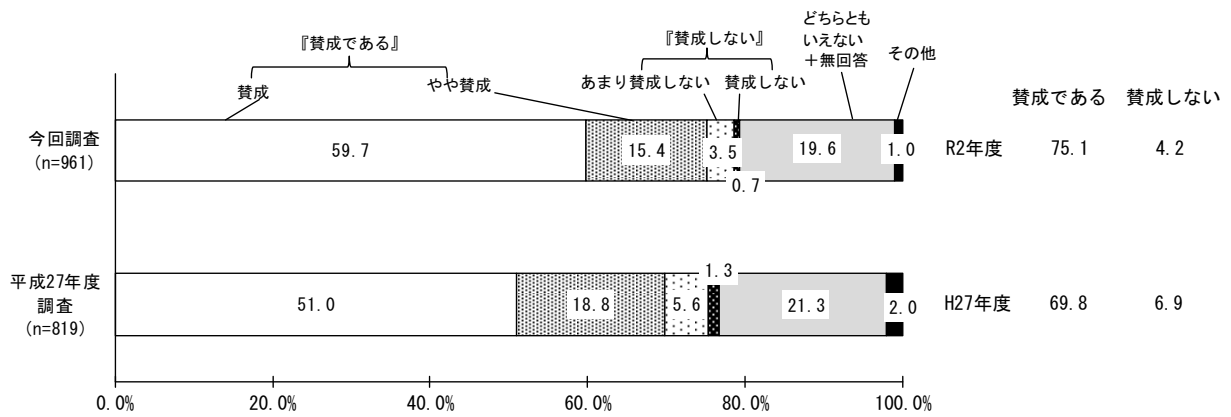


※『賛成である (計)』は調査票選択肢の「賛成」と「やや賛成」を合計したもの。
 『賛成しない (計)』は調査票選択肢の「賛成しない」と「あまり賛成しない」を合計したもの。
 以降の頁も同様。

【平成27年度調査との比較】

平成27年度調査と比べ『賛成である』が5.3ポイント増加し、『賛成しない』が2.7ポイント減少した。『賛成である』と『賛成しない』との差は、平成27年度調査は62.9ポイント、今回調査では70.9ポイントとなった。

図 11-2 女性が管理職に昇進することについて (平成 27 年度調査との比較)



3 管理職に昇進することについてのイメージ

(現在、仕事【収入を得る仕事】をしている方にお聞きします。)

問12 あなたは、職場において管理職に昇進することについてどのようなイメージをお持ちですか。(a)、(b) どちらにもお答えください。

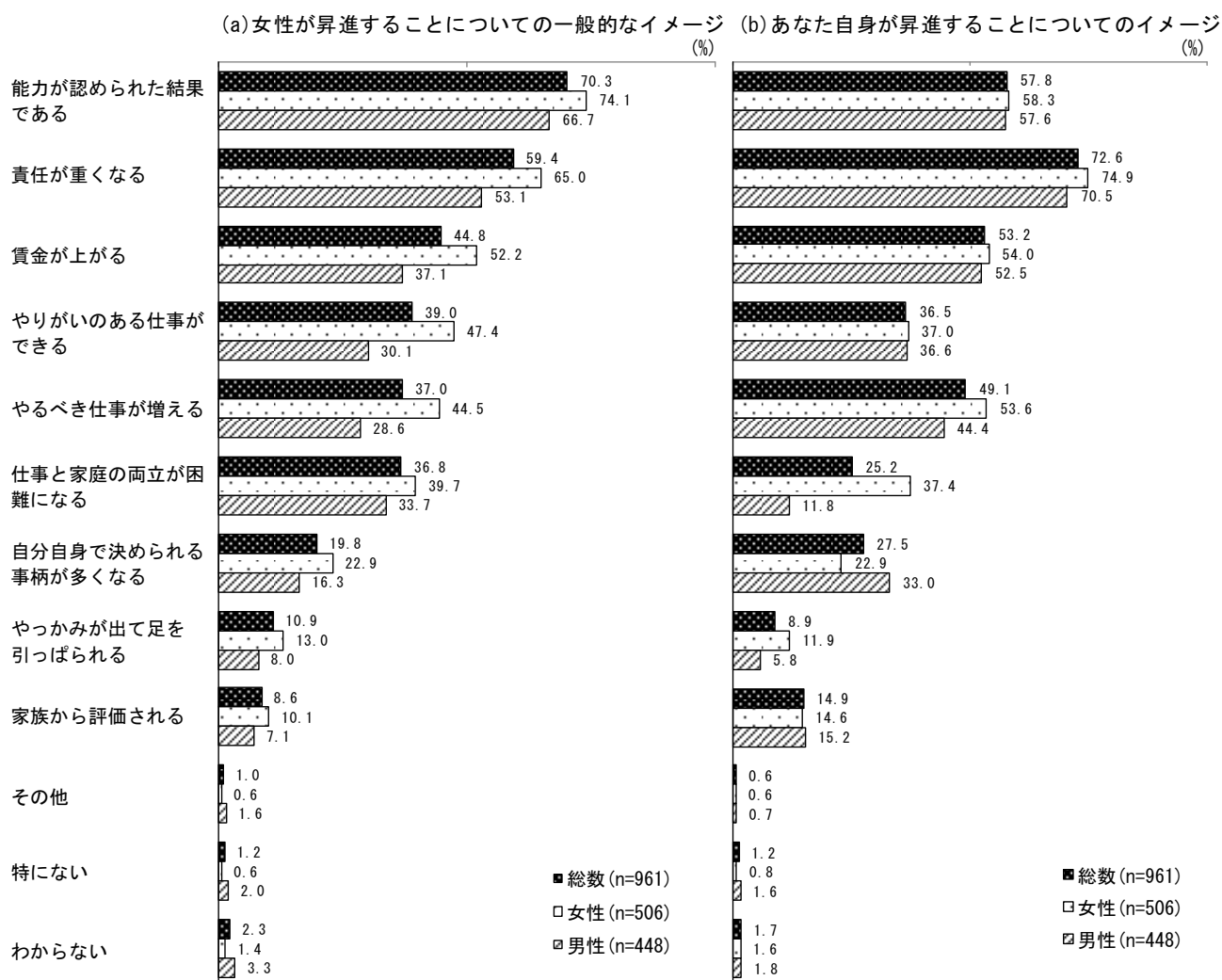
「(a) 女性が昇進することについての一般的なイメージ」では、男女ともに「能力が認められた結果である」(女性74.1%、男性66.7%)、「責任が重くなる」(女性65.0%、男性53.1%)、「賃金が上がる」(女性52.2%、男性37.1%)の順となっている。

男女の差が大きいものとして、「やりがいのある仕事ができる」(17.3ポイント差)で女性が男性のポイントを大きく上回っている。

「(b) あなた自身が昇進することについてのイメージ」では、男女ともに「責任が重くなる」(女性74.9%、男性70.5%)、「能力が認められた結果である」(女性58.3%、男性57.6%)、「賃金が上がる」(女性54.0%、男性52.5%)の順となっている。

男女の差が大きいものとしては、「仕事と家庭の両立が困難になる」(25.6ポイント差)で女性のポイントが、「自分自身で決められる事柄が多くなる」(10.1ポイント差)で男性のポイントが高くなっている。

図12-1 管理職に昇進することについてのイメージ 項目別一覧 (性別)

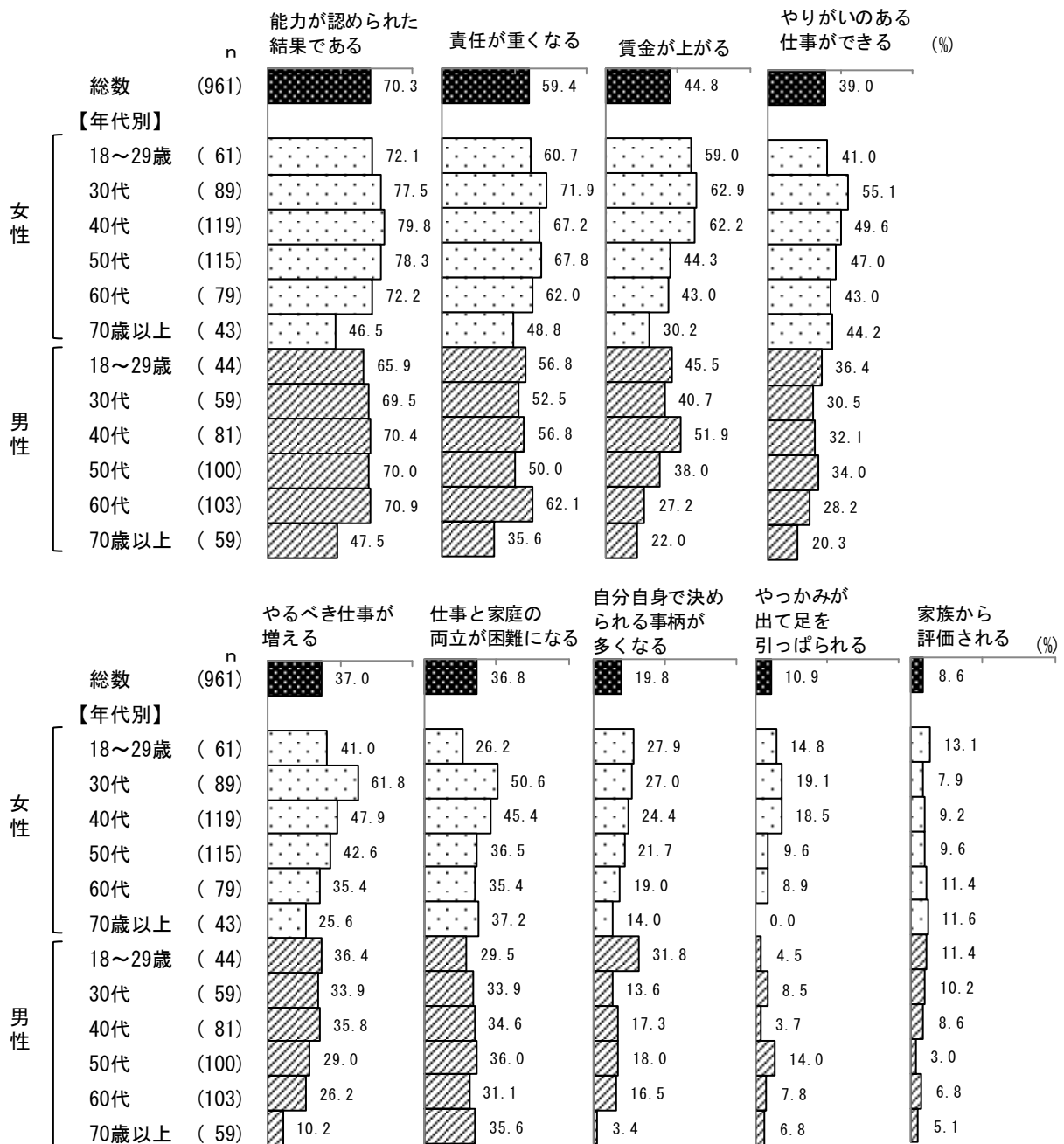


管理職に昇進することについてのイメージ

(a) 女性が昇進することについての一般的なイメージ

【年代別】
 女性では、70歳以上を除く全ての年代で「能力が認められた結果である」が最も多くなっている。
 男性では、全ての年代で「能力が認められた結果である」が最も多くなっている。

図12-2 (a) 女性が昇進することについての一般的なイメージ (年代別)

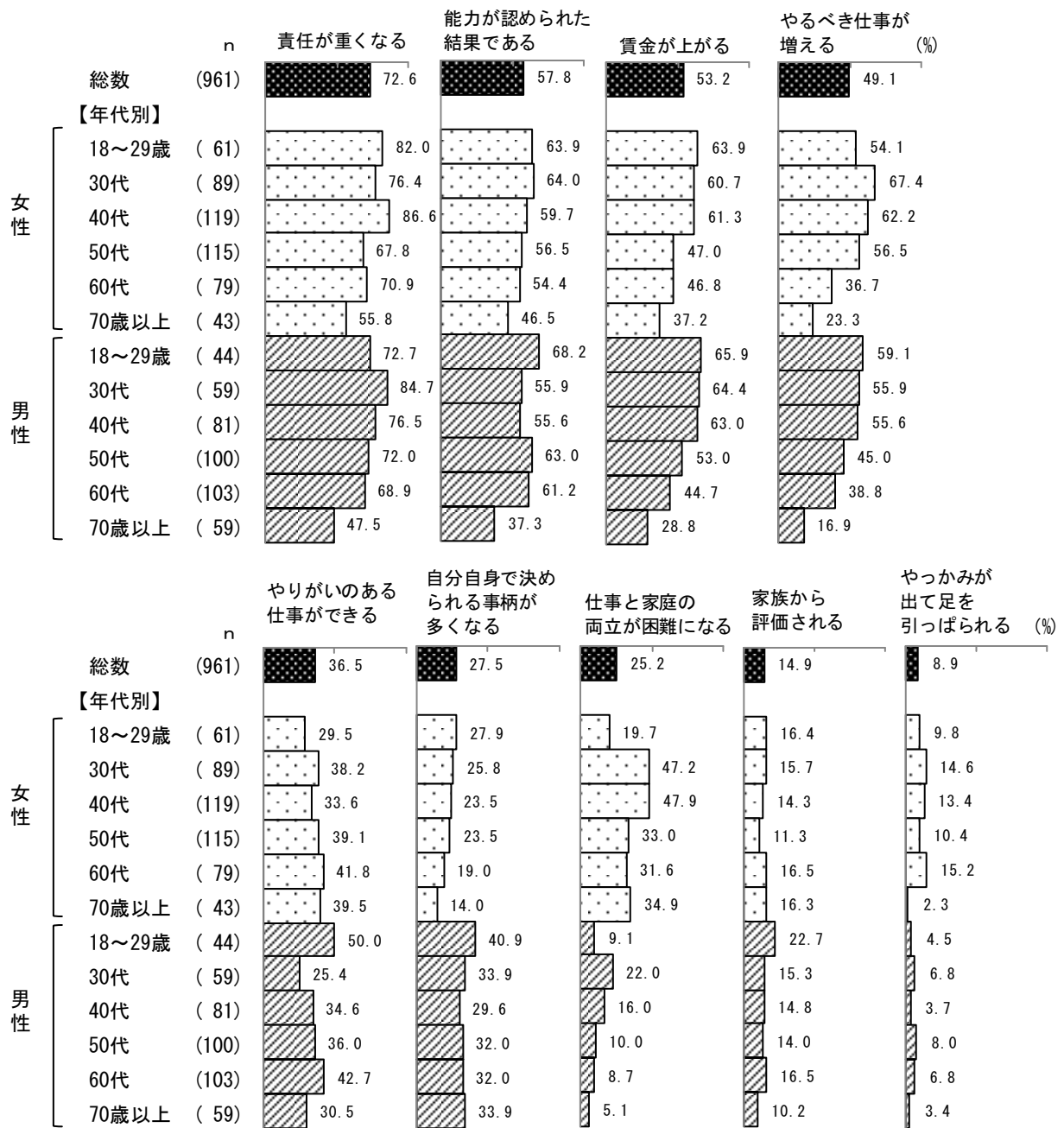


管理職に昇進することについてのイメージ

(b) あなた自身が昇進することについてのイメージ

【年代別】
 女性では、「責任が重くなる」は全ての年代で最も多く、特に18～29歳（82.0%）と40代（86.6%）で8割を超えている。
 男性においても、「責任が重くなる」は全ての年代で最も多く、特に30代（84.7%）で8割を超えている。

図12-3 (b) あなた自身が昇進することについてのイメージ (年代別)

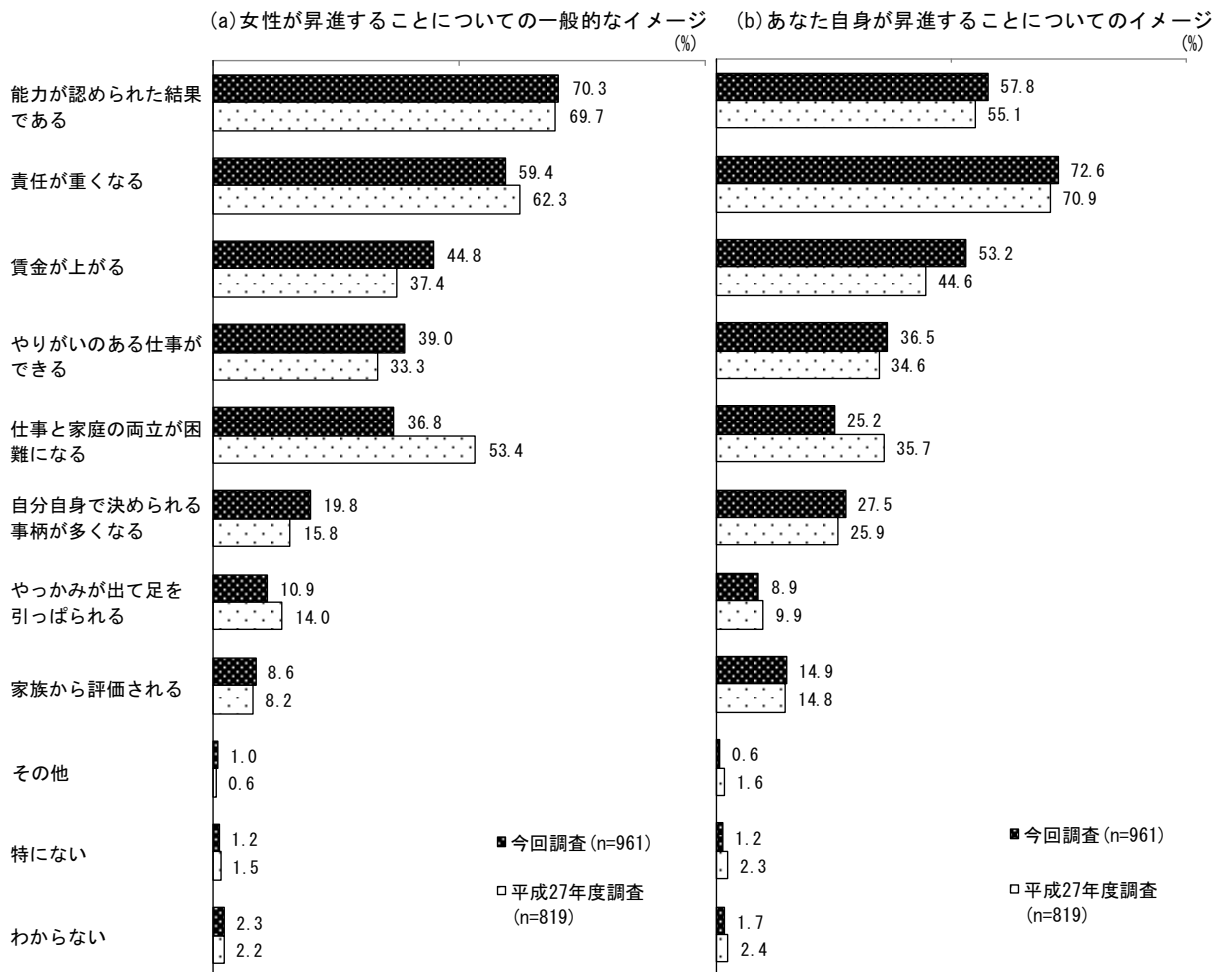


【平成27年度調査との比較】

平成27年度調査と比べると「(a) 女性が昇進することについての一般的なイメージ」で「仕事と家庭の両立が困難になる」が16.6ポイント減少しており、「やりがいのある仕事ができる」が5.7ポイント増加している。

「(b) あなた自身が昇進することについてのイメージ」でも「仕事と家庭の両立が困難になる」が10.5ポイント減少しており、「賃金が上がる」が8.6ポイント増加している。

図12-4 管理職に昇進することについてのイメージ (平成27年度調査との比較)



※今回調査における選択肢の「やるべき仕事が増える」は今回の調査での新規項目であり、比較できないため、表記していない。

4 女性のリーダーを増やす上での障害

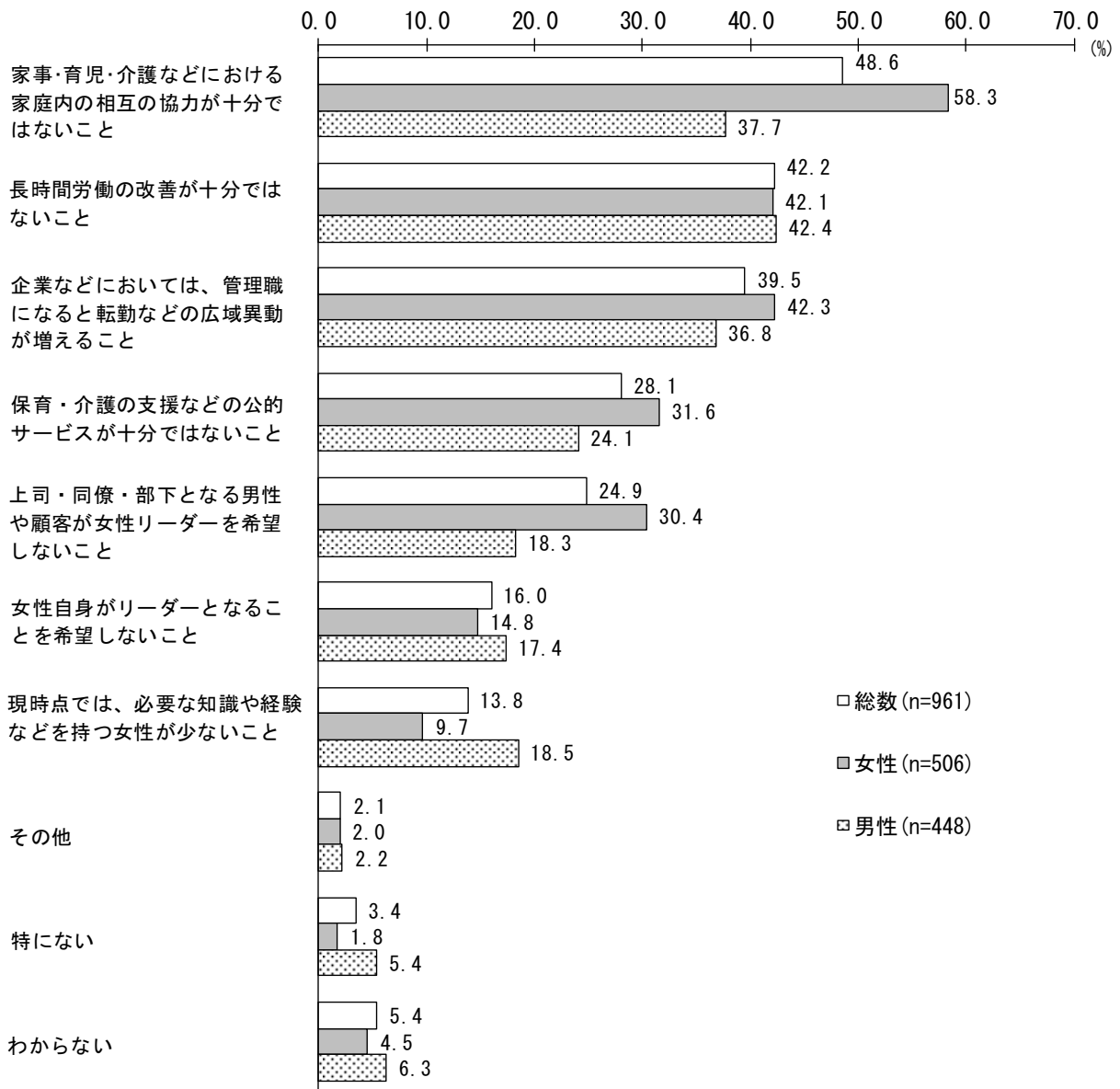
(現在、仕事【収入を得る仕事】をしている方にお聞きします。)

問13 あなたは、就業分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

女性では「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」(女性58.3%、男性37.7%)が最も多く、男性では「長時間労働の改善が十分ではないこと」(女性42.1%、男性42.4%)が最も多くなっている。

男女差では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」(20.6ポイント差)で女性が男性のポイントを大きく上回っており、「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」(8.8ポイント差)で男性のポイントが女性のポイントを上回っている。

図13-1 女性のリーダーを増やす上での障害 項目別一覧 (性別)



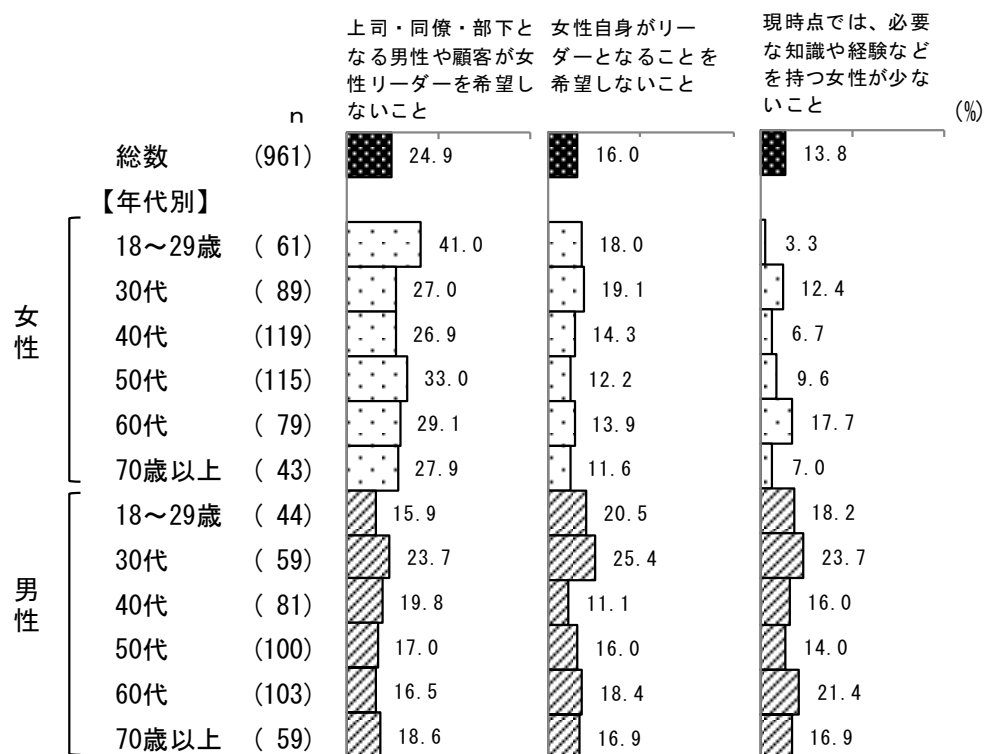
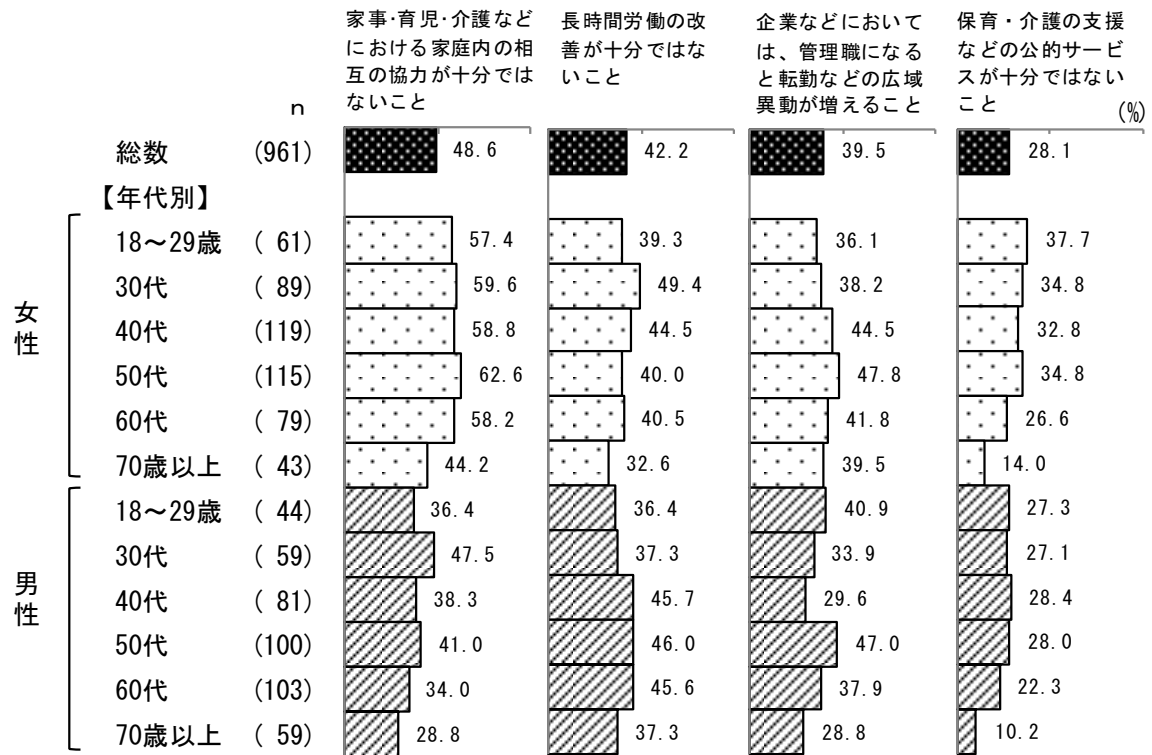
女性のリーダーを増やす上での障害

【年代別】

女性では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」はどの年代でも最も多くなっている。

男性では、「長時間労働の改善が十分ではないこと」は40代（45.7%）、60代（45.6%）、70歳以上（37.3%）で最も多くなっており、「企業などにおいては、管理職になると転勤などの広域異動が増えること」では18～29歳（40.9%）、50代（47.0%）で最も多くなっている。「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」は30代（47.5%）が5割近くで最も多くなっている。

図13-2 女性のリーダーを増やす上での障害 (年代別)



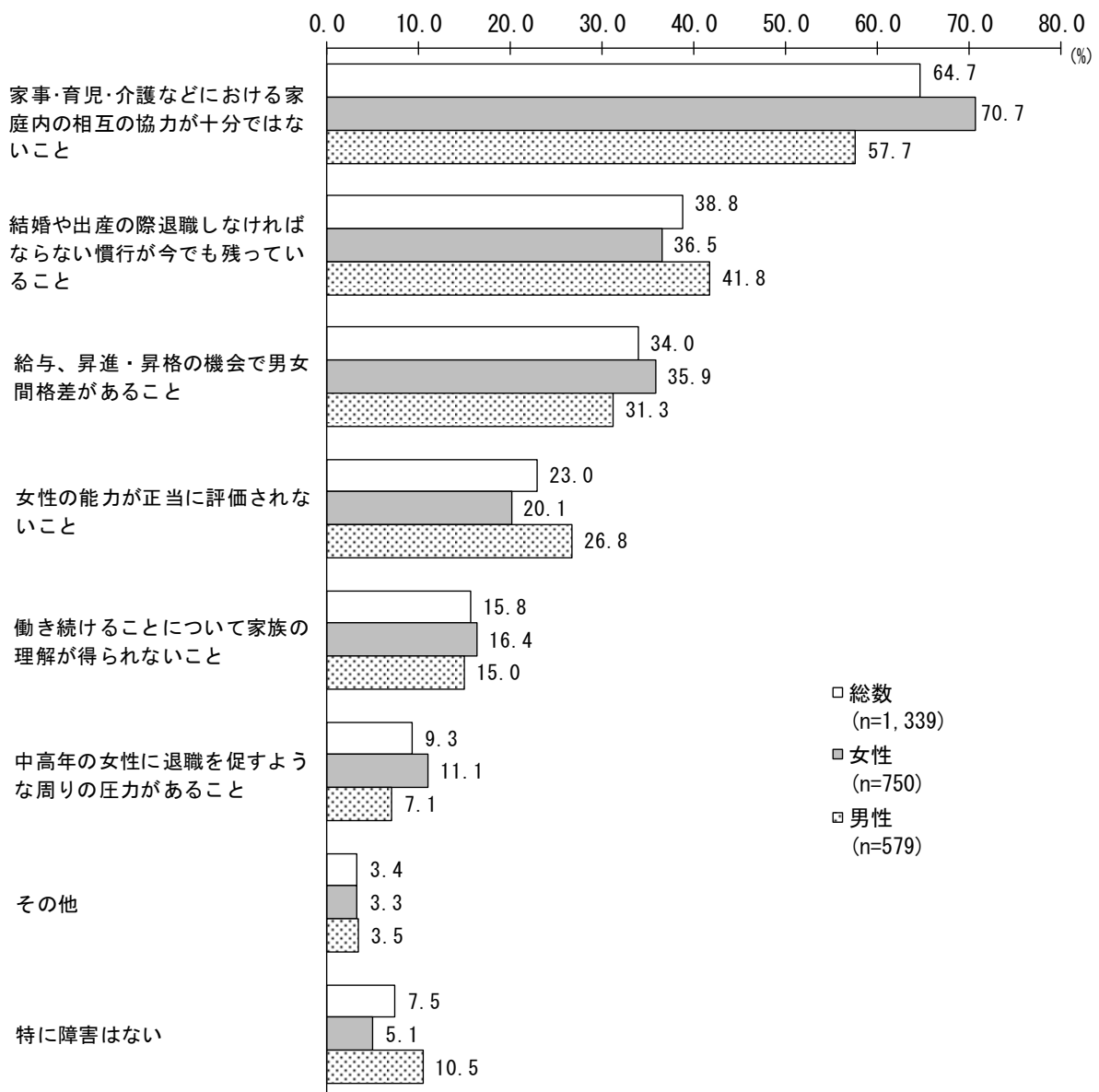
5 女性が働き続ける上での障害

問14 女性が職業を続けていく上では、どんな障害があると思いますか。(〇は3つまで)

男女とも、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」(女性70.7%、男性57.7%)が過半数で最も高く、次いで「結婚や出産の際退職しなければならない慣行が今でも残っていること」(女性36.5%、男性41.8%)の順となっている。

男女の差が大きいものとして、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」(13.0ポイント差)で女性が男性のポイントを大きく上回っており、「女性の能力が正当に評価されないこと」(6.7ポイント差)で男性のポイントが高くなっている。

図14-1 女性が働き続ける上での障害 項目別一覧 (性別)



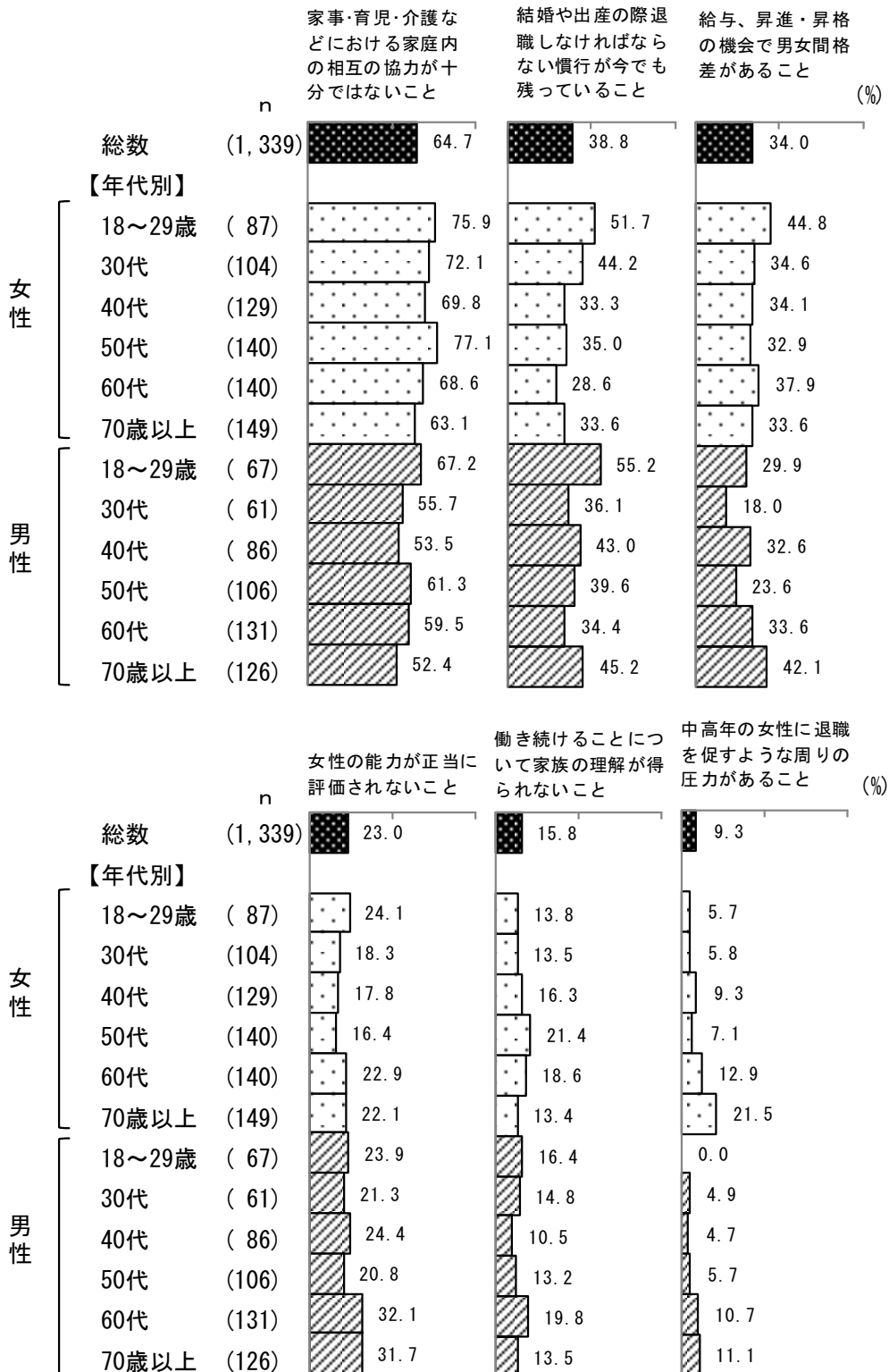
女性が働き続ける上での障害

【年代別】

女性では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」は全ての年代で最も多く、6～7割となっている。

男性においても、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力が十分ではないこと」は全ての年代で5割を超え、最も多くなっている。

図14-2 女性が働き続ける上での障害 項目別一覧 (年代別)



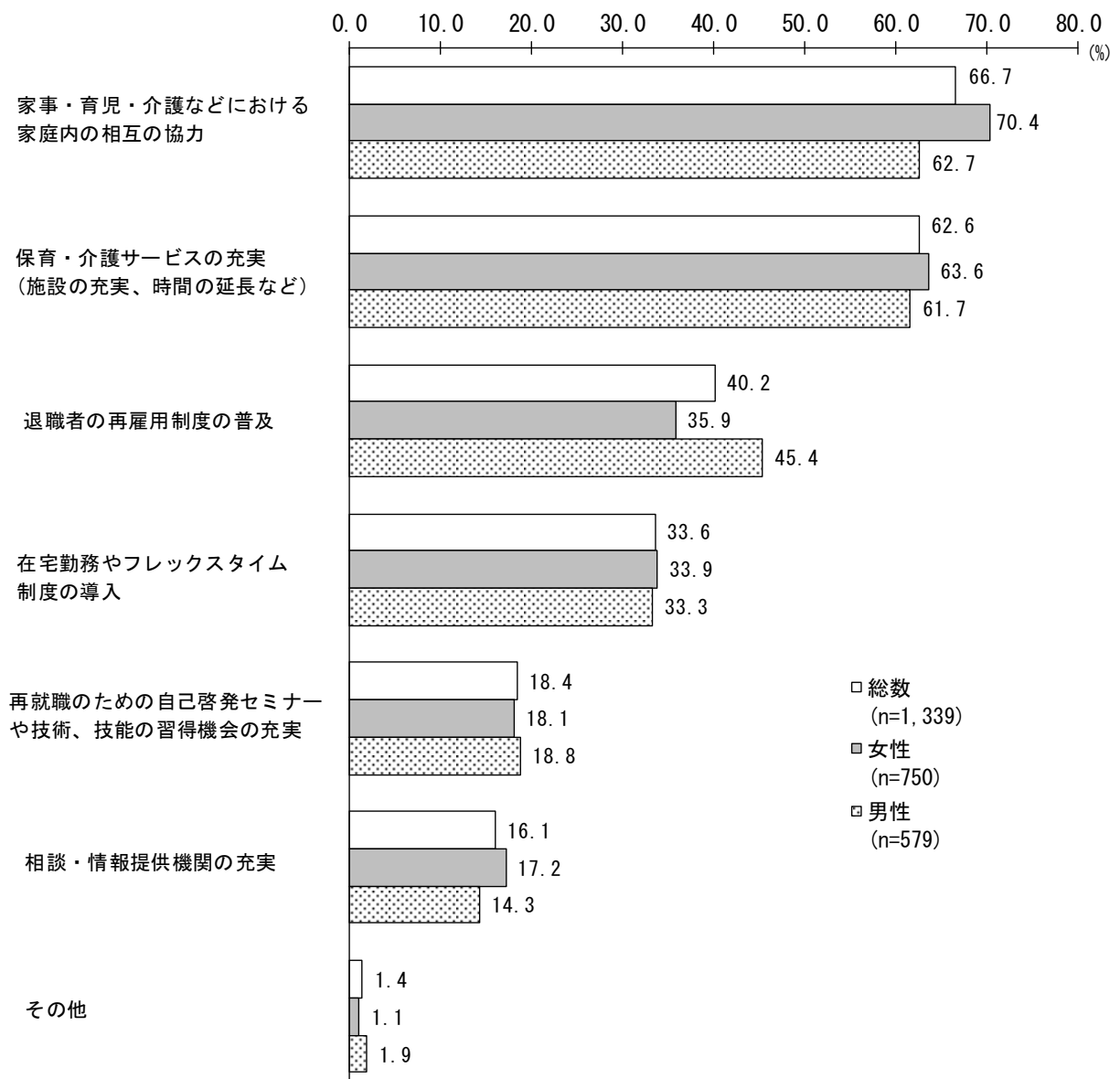
6 女性の再就職に必要なこと

問15 出産や育児、介護などで仕事から遠ざかっていた女性が再就職しやすくするには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

男女ともに「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」(女性70.4%、男性62.7%)が最も多くなっている。「保育・介護サービスの充実(施設の充実、時間の延長など)」(女性63.6%、男性61.7%)が続いている。

「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」は、女性の方が7.7ポイント多く、「退職者の再雇用制度の普及」(女性35.9%、男性45.4%)は、男性の方が9.5ポイント多くなっている。

図15-1 女性の再就職に必要なこと 項目別一覧 (性別)



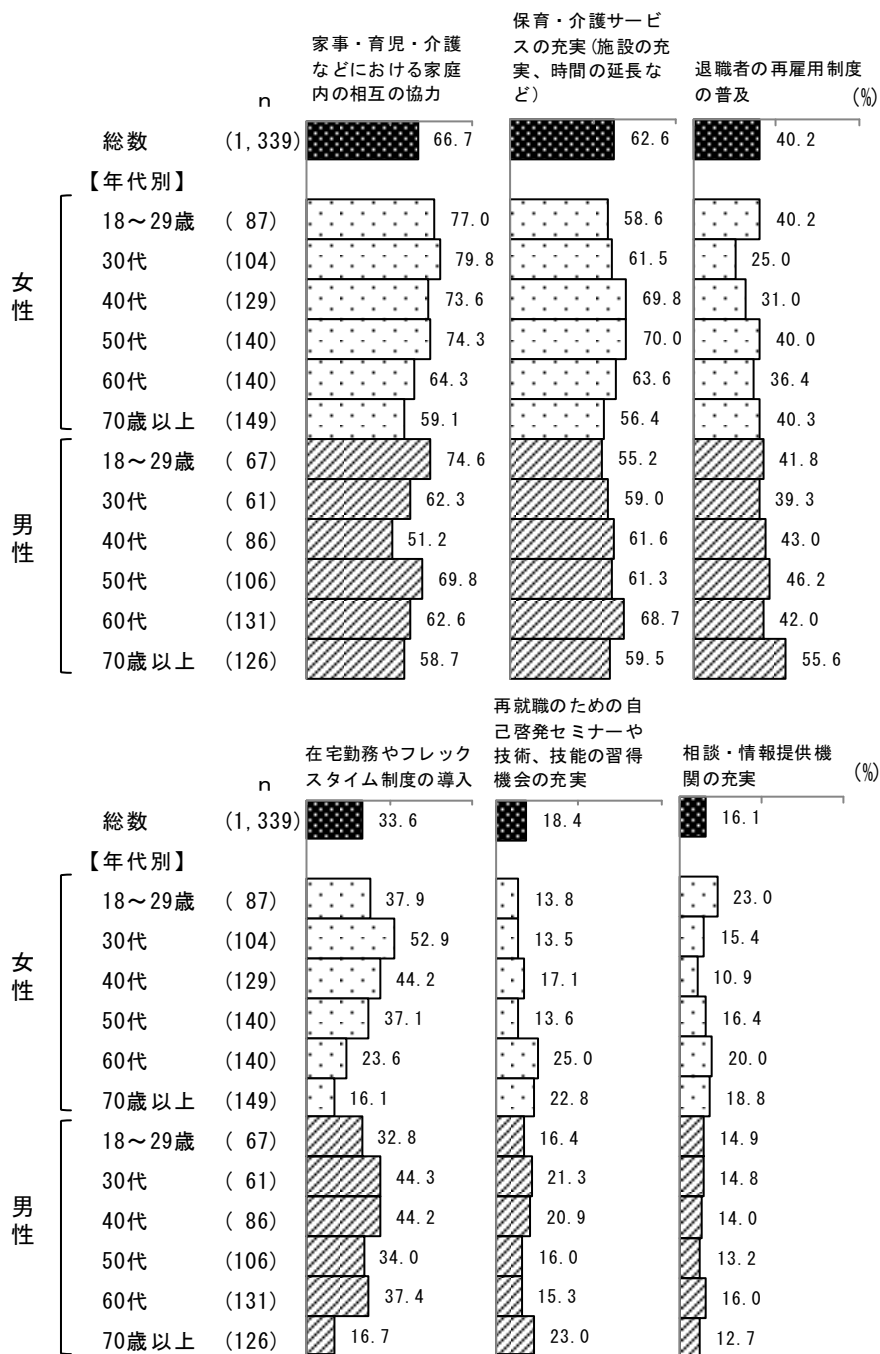
女性の再就職に必要なこと

【年代別】

女性では、全ての年代で「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」が最も多くなっている。

男性では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」は18～29歳（74.6%）、50代（69.8%）、30代（62.3%）で、「保育・介護サービスの充実（施設の充実、時間の延長など）」は60代（68.7%）、40代（61.6%）、70歳以上（59.5%）が最も多くなっている。

図 15-2 女性の再就職に必要なこと 項目別一覧（年代別）



女性の再就職に必要なこと

【職業別】

女性では、「保育・介護サービスの充実(施設の充実、時間の延長など)」は自営業等(72.4%)で最も多く、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」は勤め人(74.6%)、無職(64.6%)で最も多くなっている。

男性では、「家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力」は自営業等(61.0%)で、「保育・介護サービスの充実(施設の充実、時間の延長など)」は無職(61.7%)で最も多くなっている。両項目は勤め人(66.0%)では同率で最も多くなっている。

図15-3 女性の再就職に必要なこと (性・職業別)

(単位：%)

| | | サンプル数 | 家事・育児・介護などにおける家庭内の相互の協力 | 保育・介護サービスの充実(施設の充実、時間の延長など) | 退職者の再雇用制度の普及 | 在宅勤務やフレックスタイム制度の導入 | 再就職のための自己啓発セミナーや技術、技能の習得機会の充実 | 相談・情報提供機関の充実 | その他 | |
|-------|----|----------|-------------------------|-----------------------------|--------------|--------------------|-------------------------------|--------------|------|-----|
| 全体 | | 1,339 | 66.7 | 62.6 | 40.2 | 33.6 | 18.4 | 16.1 | 1.4 | |
| 性×職業別 | 女性 | 勤め人 | 429 | 74.6 | 65.3 | 35.4 | 38.5 | 15.6 | 17.7 | 1.4 |
| | | 自営業・家族従業 | 58 | 67.2 | 72.4 | 36.2 | 37.9 | 13.8 | 8.6 | 0.0 |
| | | 無職 | 243 | 64.6 | 58.4 | 37.0 | 24.3 | 23.9 | 18.9 | 0.4 |
| | 男性 | 勤め人 | 350 | 66.0 | 66.0 | 44.0 | 38.3 | 18.3 | 14.0 | 1.7 |
| | | 自営業・家族従業 | 77 | 61.0 | 50.6 | 33.8 | 29.9 | 20.8 | 9.1 | 2.6 |
| | | 無職 | 128 | 57.0 | 61.7 | 57.8 | 21.9 | 20.3 | 16.4 | 0.8 |

※グレーのセルは属性中トップの項目

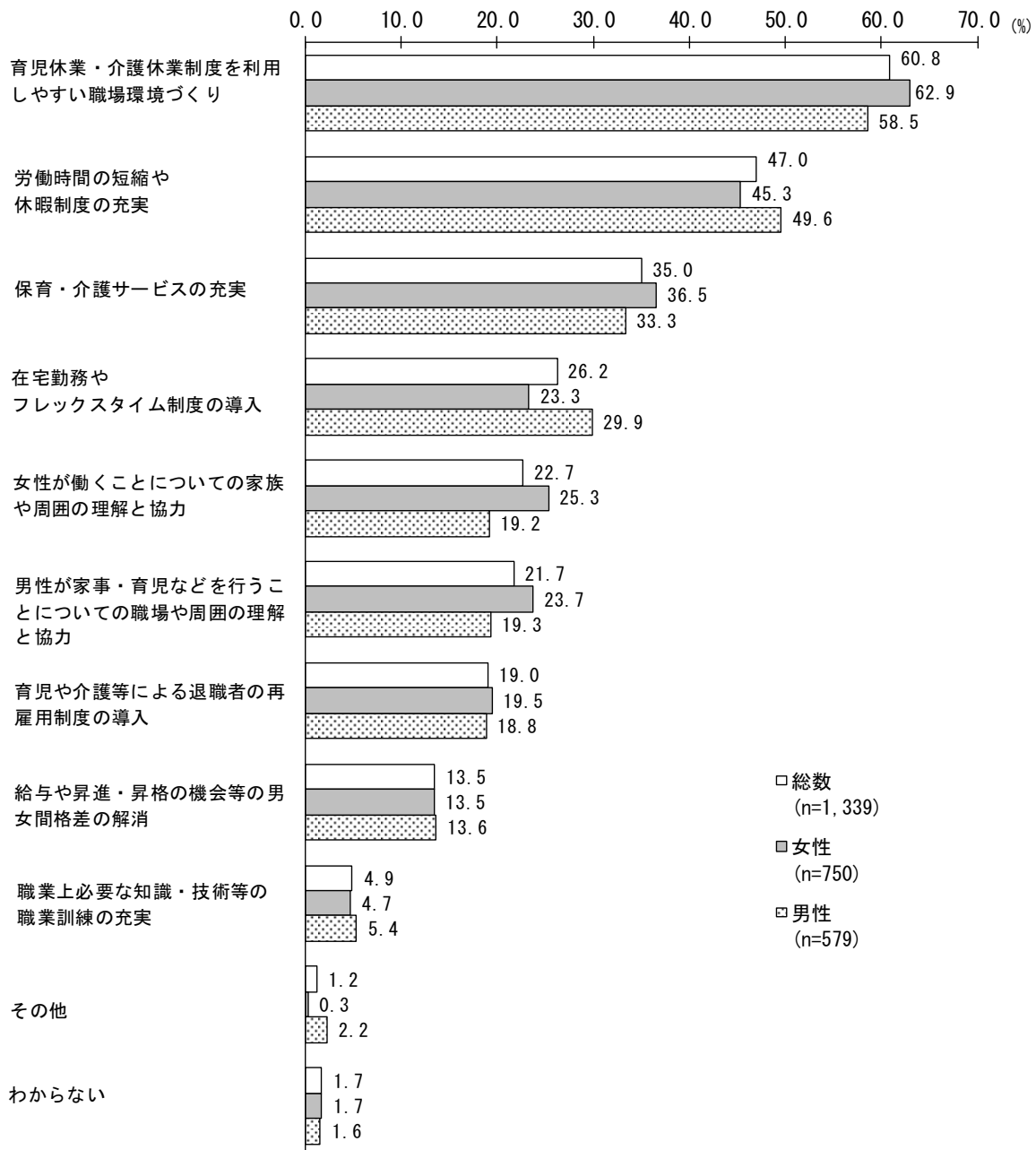
7 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと

問16 男性も女性も共に仕事と家庭の両立をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

男女とも、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」(女性62.9%、男性58.5%)が最も高くなっている。次いで「労働時間の短縮や休暇制度の充実」(女性45.3%、男性49.6%)、「保育・介護サービスの充実」(女性36.5%、男性33.3%)となっている。

男女の比較では、女性は「女性が働くことについての家族や周囲の理解と協力」(女性25.3%、男性19.2%)などの周囲の協力や理解を求める項目で、男性は、「在宅勤務やフレックスタイム制度の導入」(女性23.3%、男性29.9%)などの制度の導入や充実などの項目で上回っている。

図16-1 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと 項目別一覧 (性別)



男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと

【年代別】

女性では、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」は30代以外の層で最も多くなっている。

男性では、「労働時間の短縮や休暇制度の充実」は30代（67.2%）、40代（59.3%）で最も多くなっている。

【「男は仕事、女は家庭」への賛否別】

男女とも、『賛成である』はどの層でも「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」が最も多くなっている。

図 16-2 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと

(年代別、「男は仕事、女は家庭」への賛否別)

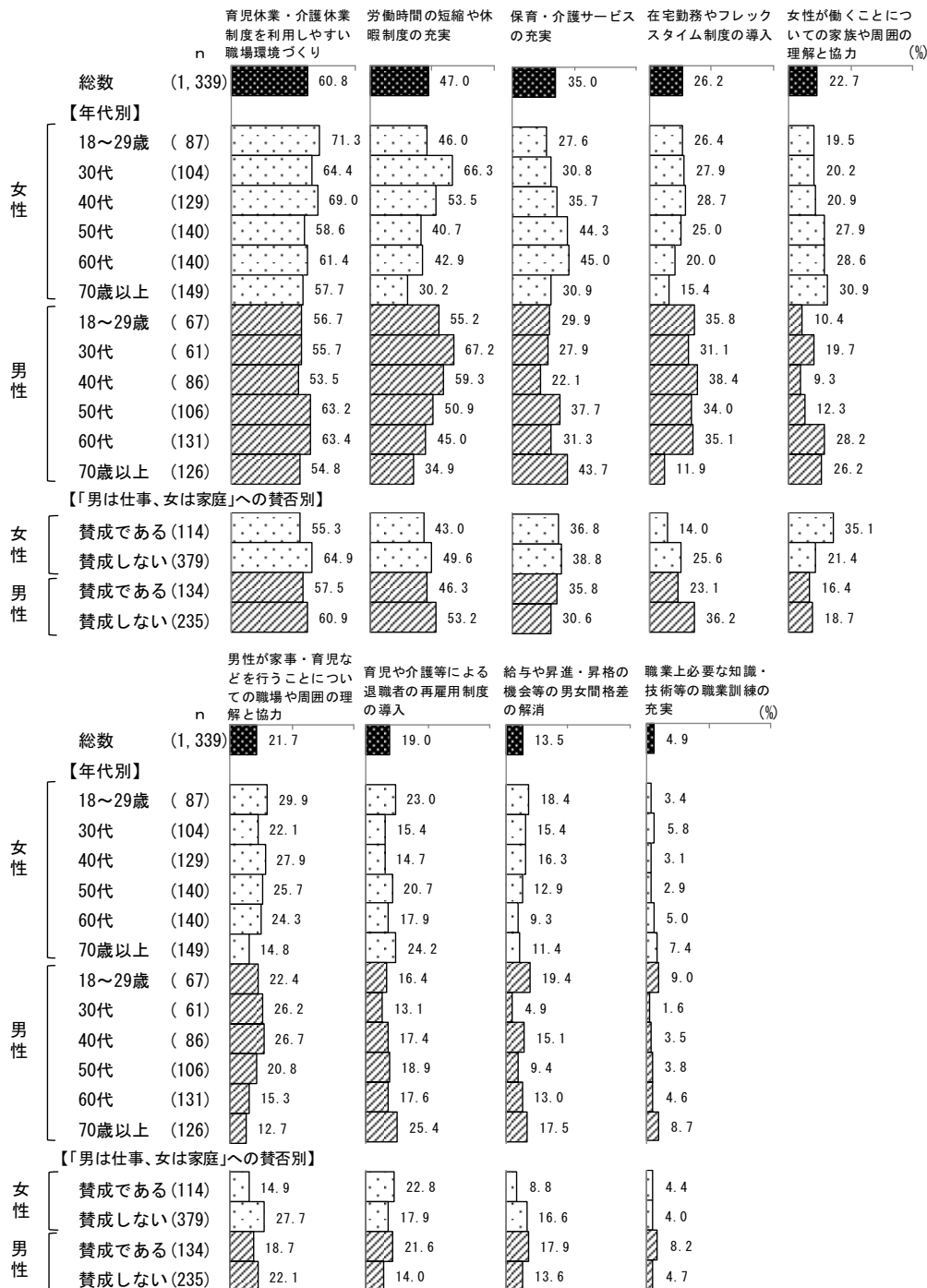


図 16-3 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと（本人の性・職業別）

(単位：%)

| | | サンプル 数 | 育児休 業・介護 休業制度 を利用し やすい職 場環境づ くり | 労働時間 の短縮や 休暇制度 の充実 | 保育・介 護サービ スの充実 | 在宅勤務 やフレッ クスタイ ム制度の 導入 | 女性が働 くことに ついての 家族や周 囲の理解 と協力 | 男性が家 事・育児 などを行 うことに ついての 職場や周 囲の理解 と協力 | 育児や介 護等によ る退職者 の再雇用 制度の導 入 | 給与や昇 進・昇格 の機会等 の男女間 格差の解 消 | 職業上必 要な知識・技術 等の職業 訓練の充 実 | その他 | わからな い | |
|-----------|----|--------------|---|-----------------------------|----------------------|------------------------------------|---|---|---|---|--------------------------------------|-----|-----------|-----|
| 全体 | | 1,339 | 60.8 | 47.0 | 35.0 | 26.2 | 22.7 | 21.7 | 19.0 | 13.5 | 4.9 | 1.2 | 1.7 | |
| 性× 職業別 | 女性 | 勤め人 | 429 | 62.5 | 51.3 | 36.4 | 24.7 | 24.2 | 26.3 | 18.4 | 15.6 | 5.1 | 0.2 | 2.1 |
| | | 自営業・ 家族従業 | 58 | 62.1 | 43.1 | 36.2 | 27.6 | 36.2 | 19.0 | 19.0 | 13.8 | 3.4 | 0.0 | 0.0 |
| | | 無職 | 243 | 65.0 | 35.4 | 36.2 | 20.6 | 25.5 | 20.2 | 21.4 | 9.1 | 3.7 | 0.4 | 0.8 |
| | 男性 | 勤め人 | 350 | 59.4 | 58.9 | 28.0 | 34.6 | 16.3 | 20.3 | 19.4 | 14.3 | 4.6 | 2.9 | 0.9 |
| | | 自営業・ 家族従業 | 77 | 53.2 | 28.6 | 36.4 | 27.3 | 36.4 | 11.7 | 11.7 | 9.1 | 2.6 | 1.3 | 7.8 |
| | | 無職 | 128 | 61.7 | 39.1 | 46.1 | 20.3 | 15.6 | 22.7 | 21.1 | 14.1 | 9.4 | 1.6 | 0.0 |

※グレーのセルは属性中トップの項目